# LOCKMAN ロックマン 取付説明書 （Ver1.1）

ロックマンは、当社の登録商標です　20140123　CEP

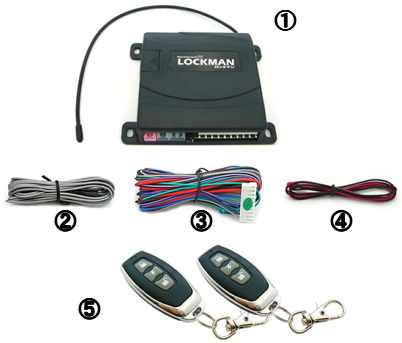
## はじめに

この度は、ベーシックタイプキーレス【ロックマン】をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この製品は、専用リモコンで車両のロック・アンロックが行えるキーレスエントリーです。

## 注意事項

■本製品は12V 車用と24V 車用があります。取り付ける前に車両と製品の仕様をご確認ください。
■取り付けを業者の方に依頼される場合も含め、いかなる場合も工賃はお支払いしません。
■本キットが原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品してください。
■必ず取付説明書に従って配線してください。
■接続しない線は、必ず絶縁処理してください。
■取り付け作業が終わると、配線をまとめて、運転の妨げにならないような場所に格納してください。

## 製品構成




① **受信機**

② **ハザード接続モジュール**

ハザードアンサーバックするためのモジュールです。

1本側を CN1 の灰線、2本側を左右それぞれのウインカーに接続してください。

③ **CN1　10ピンハーネス**

メインハーネスです。

④ **CN4　2ピンハーネス**

629L やボイスモジュールを接続するためのハーネスです。

⑤ **リモコン　2個**

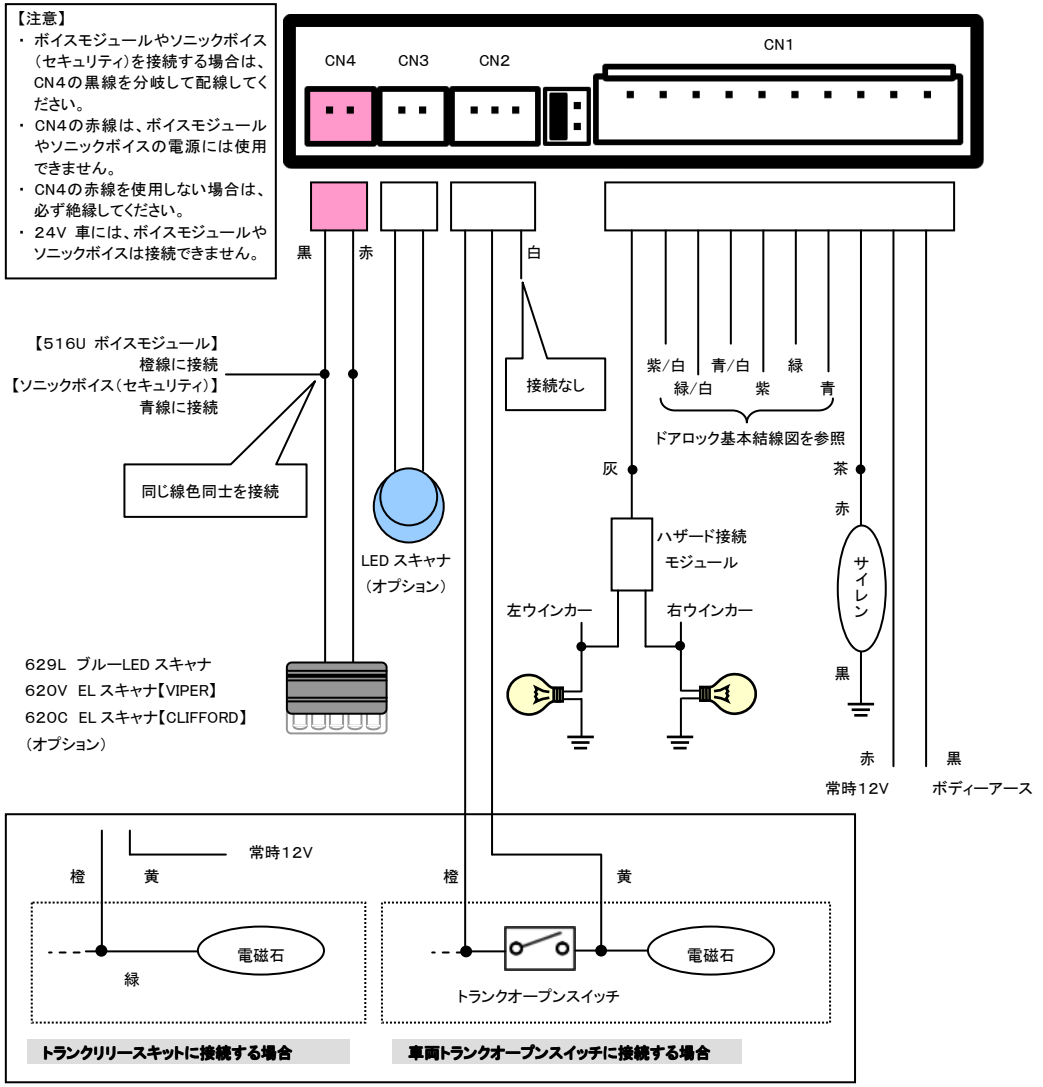
リモコンは選択していただいたタイプになります。

※ トランクオープナー機能をご注文された場合は、CN2　3ピンハーネスも付属します。
※ 上記の製品構成は、12V 車用の基本セットです。購入されたセットによって以下の部品も付属します。

| | 基本セット | サウンド標準セット | サウンド高級セット | ブザーサウンドセット |
|---|---|---|---|---|
| 12V 車用 | — | 12V 標準サイレン | 12V 高級サイレン | 12V ブザー |
| 24V 車用<br>（日本製リレー付き） | リレーモジュール | リレーモジュール<br>＋24V 標準サイレン | — | — |
| ランクル 60 専用 | リレーモジュール | リレーモジュール<br>＋24V 標準サイレン | — | — |
| ランクル 70 専用 | — | 24V 標準サイレン | — | — |

## 基本結線図

【注意】
・ ボイスモジュールやソニックボイス（セキュリティ）を接続する場合は、CN4の黒線を分岐して配線してください。
・ CN4の赤線は、ボイスモジュールやソニックボイスの電源には使用できません。
・ CN4の赤線を使用しない場合は、必ず絶縁してください。
・ 24V 車には、ボイスモジュールやソニックボイスは接続できません。




【注意】
・ CN2の橙線や黄線を間違った線に配線すると受信機が故障します。
・ 受信機を接続する前に CN2の黄線と橙線をショートし、トランクが開くことを確認してください。
・ ロックマン到着後でも「トランクオープナー用ハーネス」をご注文いただければ、機能を追加できます。

# LOCKMAN ロックマン 取扱説明書

## 操作方法

| ボタン | マーク | アンサーバック | | 機　能 |
|---|---|---|---|---|
| | | ハザード | サウンド | |
| ロック | | 1 回 | 1回 | ロックします。 |
| アンロック | | 3回 | 2回 | アンロックします。 |
| カーサーチ | | 点滅 | — | ハザードが30秒間**点滅**します。<br>いずれかのボタンを押すと止まります。 |
| ウェルカム<br>（4chリモコン） | | 点灯 | — | ハザードが30秒間**点灯**します。<br>いずれかのボタンを押すと消灯します。 |

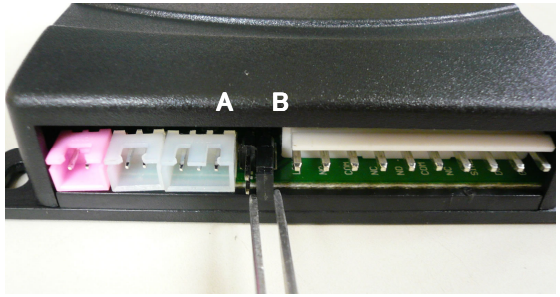
※サウンドのアンサーバックは、サイレンまたはブザーを接続した場合に有効です。

■　サイレント機能
カーサーチ中に、「ロック」・「アンロック」を押すと、サウンドのアンサーバックをキャンセルします。

■　トランクオープン　（オプション）
「カーサーチ」を長押しすると、トランクをオープンすることができます。

■　パワーウインドウ連動　（オプション）
「ロック」「アンロック」を長押しすると、パワーウインドウの開閉を行うことができます。

## リモコンセットアップ方法　（スペアリモコン購入時のみ）




【注意】
・セットに同梱しているリモコン2個は初めから受信機にセットアップされています。追加リモコン購入時にこの作業を行ってください。

・セットアップする際は、使用するすべてのリモコンのセットアップを行ってください。追加リモコンのみのセットアップはできません。

（1）　配線完了後　CN1　10ピンコネクタが刺さっている状態で、A位置に挿さっているジャンパーピン（黒い樹脂）をB位置に縦に挿します。このときハザードが1回点灯します。
（2）　リモコンのロックボタンを約0．5秒間1回押します。押すたびにハザードが1回点灯します。
（3）　（2）の操作をセットアップする全てのリモコンで行います。
（4）　すべてのリモコンのセットアップが終了すれば、B位置に挿さっているジャンパーピンをA位置に戻します。

## トラブルシューティング

■リモコンで動作しない場合は、以下の作業を行ってください。
（1）　リモコンの電池を交換してください。
　　出荷時の電池はあくまでモニター電池ですので、本来の寿命より短い場合があります。感度が徐々に落ちてきた場合は、新しい電池に交換してください。リモコンの LED が光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。
（2）　リモコンのセットアップを行ってください。
　　セットアップ方法は、上に記載しています。
（3）　ドアロック配線検査手順を行ってください。
　　必ず順序 1 番から 5 番まで、飛ばさずに確認してください。

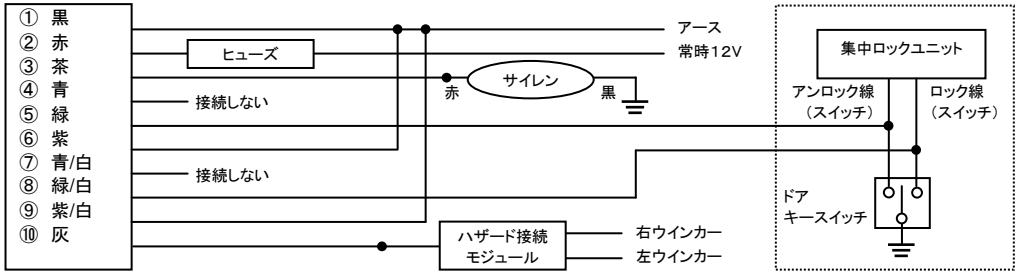
■LED スキャナの点滅がおかしい場合は、LED スキャナを挿しているコネクタを確認してください。
必ず同じ色のコネクタに挿してください。

CEP Electronic technology produced by Com Enterprise Inc.
http://cepinc.jp
有限会社コムエンタープライズ
〒671-1131 兵庫県姫路市大津区天神町2-78
TEL:079-230-2323／FAX:079-230-2221
営業時間:10:00～18:00　定休日:土・日・祝祭日

# ドアロック基本結線図 （必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線してください。）

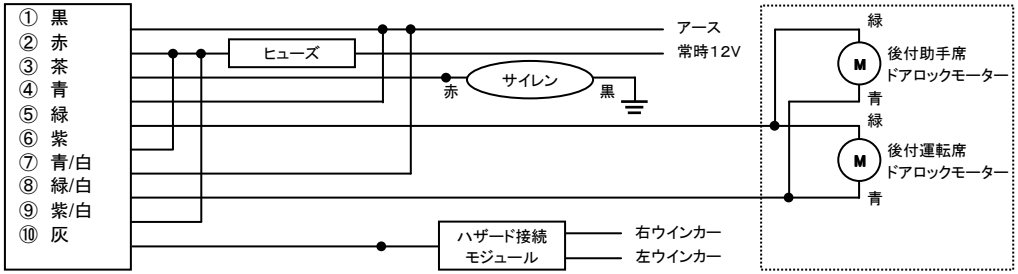
## A タイプ

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール（信号線をアースに接続するとロック・アンロック）の車種




## B タイプ（ドアロックモーターを後付けする車）

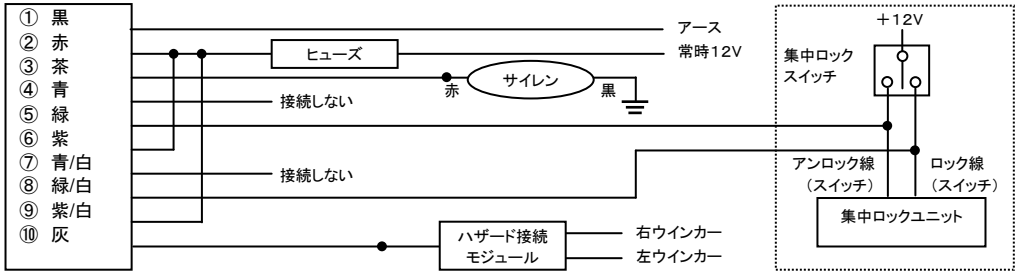
ドアロックモーターが付いていない車種




・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
・2個以上使用する場合は、図のように並列に接続してください。

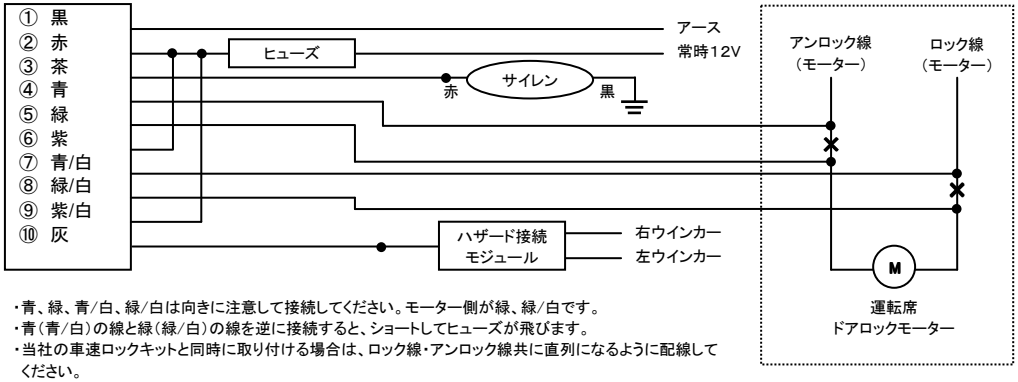
## D タイプ（例：BMW　E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部）

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール（信号線を＋12Vに接続するとロック・アンロック）の車種




## C タイプ

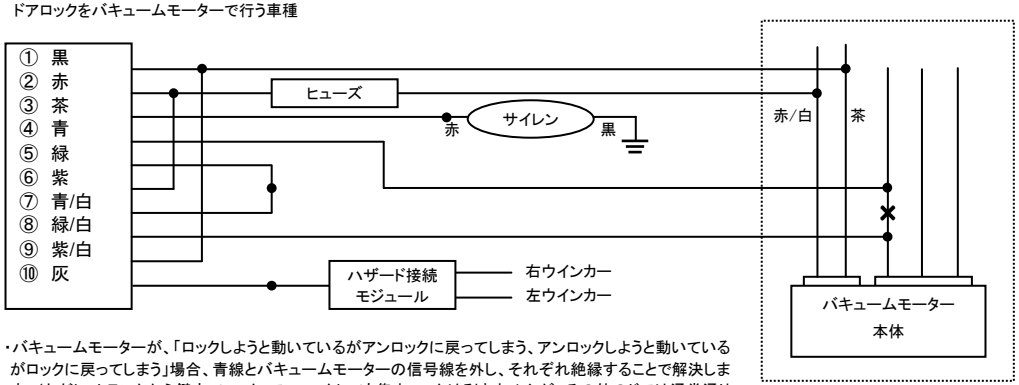
全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種




・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続してください。モーター側が緑、緑/白です。
・青（青/白）の線と緑（緑/白）の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
・当社の車速ロックキットと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線してください。
【車速ロックキットを併設する場合のアンロック線の配線例】
① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
② 本体の青線を車速ロックキットの緑線へ接続。
③ 車速ロックキットの青線を車両側のアンロック線に接続。

## ベンツタイプ（例：W124・W126・W201・R129・R107 後期等）

ドアロックをバキュームモーターで行う車種




・バキュームモーターが、「ロックしようと動いているがアンロックに戻ってしまう、アンロックしようと動いているがロックに戻ってしまう」場合、青線とバキュームモーターの信号線を外し、それぞれ絶縁することで解決します。（ただし、トランクから鍵穴でロック・アンロックしても集中ロックは利きませんが、その他のドアは通常通り集中ロックになります。また、リモコンですべてのドアがロック・アンロックできますので、実運用上は問題ありません。）

【常時電源について】
赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続してください。
（オーディオ裏は、容量が小さいのでうまく動作しない可能性があります。）

【サイレン・ハザード出力について】
茶線や灰線を接続しない場合は、どこにも接続せずに必ず絶縁してください。

車種別の配線タイプや配線図は、資料閲覧ページをご覧下さい。

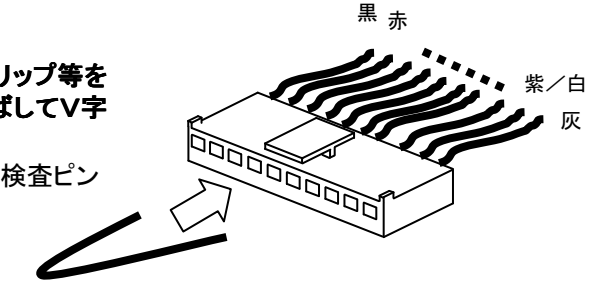
http://cepinc.jp/chumon/torisetsu/torisetsu.html

**パスワード：** CMP553（半角大文字＋半角数字）

# ドアロック配線検査手順

・検査は必ず本体からカプラーを抜いて行ってください。
・必ず順序 1 番から 5 番まで、飛ばさずに確認してください。
・手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
**・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。** **⚠ 危険**

**検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。**




## A タイプ （検査ピン1本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑／白と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む | ロック | 緑／白または黒線の結線不良 |
| 2 | 緑と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | アンロック | 緑線の結線不良 |
| 3 | 緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | ロック | 紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線または赤線の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

## D タイプ （検査ピン1本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑／白と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | ロック | 緑／白または赤線の結線不良 |
| 2 | 緑と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | アンロック | 緑線の結線不良 |
| 3 | 緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | ロック | 紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 黒線の結線不良<br>本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

## ベンツタイプ （検査ピン1本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑／白と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | ロック | 緑／白または黒線の結線不良 |
| 2 | 緑／白と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | アンロック | 赤線の結線不良 |
| 3 | 緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | ロック | 紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑／白と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線の結線不良<br>左が点かない⇒黒／白の結線不良<br>右が点かない⇒黒／緑の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 青／白と緑線の結線不良<br>本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

## B･C タイプ （検査ピン2本使用）

| 順序 | 検査方法 | 車両の動作 | 異常時の原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 緑と黒の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、<br>緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0．5秒差し込む。 | ロック | 緑、黒、緑／白または赤線の結線不良 |
| 2 | 緑／白と青／白の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、<br>緑と赤の穴に別の検査ピンを約0．5秒差し込む。 | アンロック | 青／白または緑線の結線不良 |
| 3 | 緑と青の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、<br>緑/白と紫/白の穴に別の検査ピンを約0．5秒差し込む。 | ロック | 青または紫／白線の結線不良 |
| 4 | 緑／白と青／白の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、<br>緑と紫の穴に検査ピンを約0．5秒差し込む。 | アンロック | 紫線の結線不良 |
| 5 | 灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。 | 差し込んでいる間<br>両ウインカー**点灯** | ウインカー線または赤線の結線不良 |
| 6 | 本体を接続し、リモコンで動作させる。 | ロック・アンロック | 本体またはリモコンの初期不良等 **（注1参照）** |

**・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないでください。**
**・ヒューズが飛ぶ場合は、青（青/白）線と緑（緑/白）線が逆に接続されている可能性があります。**

**（注1）** 配線検査で1から5番まで問題がないのに本体が反応しない場合は、取扱説明書に記載しているリモコンのセットアップを行ってください。
それでも改善しない場合は、リモコンの LED が光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。電池を交換してください。

※ 本体は、両面テープなどで固定してください。キックパネル内など、見えない場所でもかまいません。
（アンテナは感度に応じて伸ばしてください。）
※ 本体はドアの中には設置しないようにしてください。水濡れや振動で故障の原因になります。

【感度について】
本体から出ている黒い線がアンテナです。感度が悪い場合、この線をまっすぐに伸ばしてください。また、本体を水平設置や垂直設置に変えると感度が良くなる場合があります。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源に接続しないようにしてください。
もし、現状の感度でご満足いただけない場合は、感度調整方法を資料閲覧ページで公開しておりますので試してください。
**（この調整を行った場合は、当社の保証対象外となります。）**